

環境法遵守状況

確実な環境法令遵守のために、排出ガス・排水・騒音・振動などについて、拠点ごとに法律や条例の規制値よりさらに厳しい自主管理値を設定し、徹底した管理を実施しています。

しかしながら、2012年は、中国のグループ会社において排出ガスと排水の規制値超過が発生しました。周辺環境に影響が及ばないように必要な措置を講じたうえで、再発防止のための改善に取り組んでいます。

環境報告に対する第三者保証

環境情報の信頼性・網羅性の向上のために2004年度より第三者保証を受けており、保証対象部分に保証マークを表示しています。

本年度の第三者保証を受けて、サステナビリティ情報審査協会*1の環境報告審査・登録マーク*2の付与が認められました。これは、「KUBOTA REPORT 2013」に記載された環境情報の信頼性に関して、サステナビリティ情報審査協会の定めたサステナビリティ報告審査・登録マーク付与基準を満たしていることを示しています。

*1  <http://www.j-sus.org/index.html>

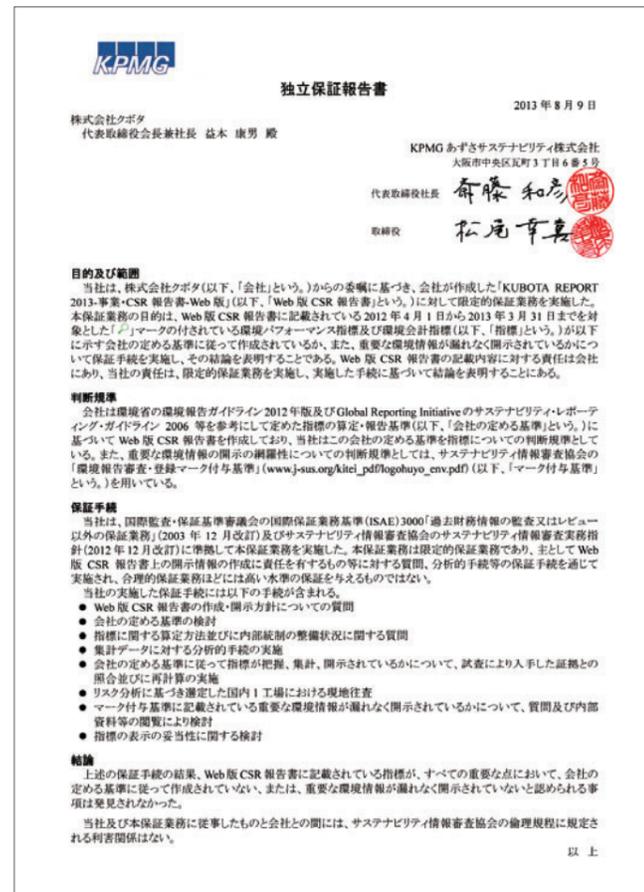
*2 同マークを裏表紙に掲載

「KUBOTA REPORT 2013」は、日本語・英語・中国語の3カ国語で、冊子版とWeb版の2種類を発行しており、計6種類の環境報告に対して第三者保証を受けています。

工場往査



クボタシーアイ(株)栃木工場



実践レポート

地域社会と密着した生物多様性の保全活動

家族も参加した稚魚放流活動など、地域社会に密着した生物多様性の保全活動に取り組んでいます。



サイアムクボタコーポレーション従業員・家族参加の稚魚放流活動



P.T.クボタインドネシア敷地境界の緑化活動



クボタエンジン(タイランド)敷地境界の緑化活動

第三者意見

KUBOTA REPORT 2013 事業・CSR報告書に対する第三者意見

クボタグローバルアイデンティティに期待

クボタは2012年10月に企業理念「クボタグローバルアイデンティティ」を制定しました。益本社長のトップメッセージでも、この新しい企業理念の意義が力強く表明されています。「社会に対してクボタが果たせる役割」を開拓することが、事業の成長と社会への貢献を同時に達成する道であると信じますので、「クボタグローバルアイデンティティ」の精神を、グローバルに活動するクボタグループ全体に浸透させた活動の展開を大いに期待しています。

企業理念から経営戦略・CSR戦略への落とし込み

新しい企業理念は新しい経営戦略を必要とします。今年度の報告書では、アジア諸国の課題に対して、「食料・水・環境」の3分野からどのような取り組みがなされているのかについて「特集」が組まれています。すべての活動は素晴らしいもので、今後のさらなる発展を期待しています。これらの活動をさらに進化させるためには、経営戦略的側面とCSR戦略的側面の両方から評価していくような視点も重要になると思います。クボタにとっての事業の貢献と地域にとっての貢献を比較しながら、可能な範囲で地域貢献の割合を増やしていくようなCSR戦略的な視点が、次の成長に結びつくと考えます。世界では、BOP (Base of Pyramid) 活動が重視されていますので、そのような視点をどのように取り込んでいくのかも大切な課題になるでしょう。

地域再生・復興への活動

報告書では今年度も東日本大震災の被災地の再生・復興に向けての記載が詳しくなされており、クボタの重要な貢

献が良くわかります。大変重要な活動で心から敬意を表したいと思います。このような活動は今後も継続されると同時に、一企業だけの活動ではどうしても限界があるので、企業間で協力して継続して支援していくような体制づくりも、今後は必要になってくると思います。

環境経営の取り組み

クボタでは環境経営にも積極的に取り組んでおり、CO₂の排出、廃棄物排出量、PRTR法対象物質排出移動量については、いずれも総量・原単位ともに、基準年度よりも改善しています。しかし、CO₂削減については、地球温暖化防止の目標を達成することができませんでした。その理由として、国内電力のCO₂排出係数の増加や海外拠点の増加をあげられています。国内電力のCO₂排出係数の増加は、目標設定時には予想しなかったことですから、思い切って目標を変更する、あるいは、排出係数を目標設定時のものに変更して使用するなどの工夫をして、目標と実績の関係を検討する必要があるでしょう。海外拠点の整備については、グローバルに活動される以上、非常に重要な課題になりますので、今後の展開を期待したいと思います。



神戸大学大学院
経営学研究科 教授
國部 克彦 氏

第三者意見を受けて

(株)クボタ 執行役員 CSR本部長 諏訪 国雄



2009年度より継続して國部先生より第三者意見をいただいております。本年度も貴重なご意見を頂戴いたしまして、厚く御礼申し上げます。

クボタグループは、人類の生存に欠かすことのできない「食料・水・環境」問題の解決に貢献するという、事業そのものがCSRであるとの考え方のもと事業を推進してきました。ご指摘の通り今後はより一層、時代とともに変化する社会の要請や期待に応え、グローバルに進化させ続ける事業のあり方について考えてまいります。

そのためにも、世界中のクボタグループ全従業員が「クボタグローバルアイデンティティ」を真に共有することが必須となります。一人ひとりに何が出来るか、自らの役割や責任を考え行動し続けることで、クボタグループと社会の継続的な相乗発展をめざしてまいります。